



2024年9月期 決算短信(日本基準)(連結)

2024年11月14日

上場会社名 株式会社ランドビジネス
コード番号 8944 URL <https://www.lbca.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森作 哲朗

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部担当兼管理部部長 (氏名) 柴田 享 TEL 03-3595-1371

定時株主総会開催予定日 2024年12月19日 配当支払開始予定日 2024年12月20日

有価証券報告書提出予定日 2024年12月19日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期の連結業績(2023年10月1日～2024年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	9,975	122.2	1,551		1,963		2,099	
2023年9月期	4,490	3.3	42		472		349	30.9

(注) 包括利益 2024年9月期 2,088百万円 (%) 2023年9月期 374百万円 (14.5%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年9月期	105.77		11.9	3.7	15.6
2023年9月期	17.61		1.9	0.9	0.9

(参考) 持分法投資損益 2024年9月期 百万円 2023年9月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期	52,032	16,498	31.7	831.34
2023年9月期	53,877	18,718	34.7	943.19

(参考) 自己資本 2024年9月期 16,498百万円 2023年9月期 18,718百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年9月期	2,643	1,504	575	5,947
2023年9月期	7	1,918	2,065	10,630

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年9月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年9月期		0.00		6.00	6.00	119	34.1	0.6
2024年9月期		0.00		6.00	6.00	119	5.7	0.7
2025年9月期(予想)		0.00		6.00	6.00		9.0	

3. 2025年9月期の連結業績予想(2024年10月1日～2025年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,665	57.0	755		1,205		1,325		66.76

注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1 社 (社名) 株式会社フランドル、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年9月期	26,780,800 株	2023年9月期	26,780,800 株
期末自己株式数	2024年9月期	6,934,685 株	2023年9月期	6,934,685 株
期中平均株式数	2024年9月期	19,846,115 株	2023年9月期	19,846,115 株

(参考) 個別業績の概要

2024年9月期の個別業績 (2023年10月1日 ~ 2024年9月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	4,575	3.0	824		1,188		2,134	
2023年9月期	4,442	2.3	32		459		368	57.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期	107.57	
2023年9月期	18.59	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期	50,108	16,456	32.8	829.22
2023年9月期	53,511	18,699	34.9	942.25

(参考) 自己資本 2024年9月期 16,456百万円 2023年9月期 18,699百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想には、本資料発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。今後の経済情勢・市場の変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当連結会計年度末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2023年10月1日～2024年9月30日）におけるわが国経済は、個人消費の回復やインバウンド需要の増加などにより景気持ち直しの動きがあった一方、物価上昇や円安傾向の影響などから依然として先行きが不透明な状況が続きました。

不動産関連事業のオフィスビル・レジデンス賃貸市場においては、働き方改革やリモートワーク普及によるニーズの変化などから、一部では賃料上昇の兆しがみられたものの、市況の改善は総じて緩やかであり、今後もその動向を注視する必要があります。

このような事業環境下、当社グループはマーケットの動向を見極め、的確なリーシング戦略により、賃貸オフィスビル・レジデンスの稼働率維持向上と賃料アップを目指し、安定収益を確保しつつ保有物件のリビルド工事などを順次実施し、資産価値の向上・収益力の強化に取り組みました。

外食事業では、高品質・高付加価値商品・サービスの提供をモットーに、新規出店候補地の特性に合わせた市場開拓と店舗設計を行い開店準備を進める一方で、M&Aを活用した規模の拡大を図ってまいりました。また、既存店ではメニュー及びサービスを継続的に改良するなど、積極的な事業展開に注力しました。

服飾事業におきましては、連結子会社化した、婦人服の企画・販売を行うフランドル社の販売網を拡充するとともに、製造子会社の生産体制の見直しやライン刷新に取り組み、商品の企画・製造・販売の一貫体制の強化を図っております。

以上の結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高9,975百万円（前期比122.2%増）、営業損失1,551百万円（前期は営業損失42百万円）、経常損失1,963百万円（前期は経常損失472百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失2,099百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純利益349百万円）となりました。

セグメント別の業績の概況は、以下のとおりであります。

イ. 不動産関連事業

売上高は4,140百万円（前期比5.7%減）、セグメント利益1,335百万円（前期比5.8%減）となりました。

ロ. 外食事業

売上高は602百万円（前期比809.9%増）、セグメント損失736百万円（前期はセグメント損失449百万円）となりました。

ハ. 服飾事業

売上高は5,032百万円（前期は30百万円）、セグメント損失1,058百万円（前期はセグメント損失155百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末におきましては、総資産は前連結会計年度末より1,844百万円減少し、52,032百万円となりました。これは主に売掛金が557百万円、商品及び製品が656百万円、販売用不動産が25,287百万円、原材料及び貯蔵品が495百万円、流動資産「その他」が423百万円、建設仮勘定が1,038百万円、のれんが124百万円、商標権が817百万円、関係会社株式が304百万円、投資その他の資産「その他」が881百万円増加した一方で、現金及び預金が4,638百万円、建物及び構築物（純額）が10,701百万円、土地が16,489百万円、借地権が571百万円減少したことによります。

なお、上記の増減額には保有目的変更による有形固定資産の販売用不動産への振替額を含めており、その内訳は以下のとおりであります。

（単位：百万円）

建物及び構築物（純額）	9,340
機械装置及び運搬具（純額）	1
工具、器具及び備品（純額）	68
土地	15,131
建設仮勘定	226
借地権	571
他	0
販売用不動産への振替額	25,340

総負債は、前連結会計年度末より375百万円増加し、35,533百万円となりました。これは主に、流動負債「その

他」が681百万円、社債（1年内償還予定を含む）が1,775百万円、固定負債「その他」が147百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が683百万円、短期借入金が1,222百万円、未払法人税等が226百万円、長期借入金（1年内返済予定を含む）が420百万円、繰延税金負債が339百万円増加したしたことによります。

純資産は、前連結会計年度末より2,219百万円減少し、16,498百万円となりました。これは主に配当金の支払119百万円及び親会社株主に帰属する当期純損失2,099百万円計上により利益剰余金が2,230百万円減少したことによります。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、主に営業活動によるキャッシュ・フローが2,643百万円の支出超過、投資活動によるキャッシュ・フローが1,504百万円の支出超過、財務活動によるキャッシュ・フローが575百万円の支出超過、また非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額41百万円により、前連結会計年度末より4,681百万円減少し、5,947百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,643百万円の支出超過となりました。これは、キャッシュ・フローの増加要因としては主に減価償却費898百万円、減損損失2,501百万円、またキャッシュ・フローの減少要因としては主に税金等調整前当期純損失1,574百万円、棚卸資産の増加額517百万円、仕入債務の減少額309百万円、固定資産売却益3,066百万円、法人税等の支払額256百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,504百万円の支出超過となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入4,270百万円があった一方で、有形固定資産の取得による支出2,160百万円、関係会社貸付けによる支出3,307百万円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、575百万円の支出超過となりました。これは主に、短期借入金の純増加額1,222百万円、長期借入れによる収入6,595百万円があった一方で、長期借入金の返済による支出6,463百万円、社債の償還による支出1,794百万円があったことによるものであります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年9月期	2023年9月期	2024年9月期
自己資本比率（％）	34.1	34.7	31.7
時価ベースの自己資本比率（％）	8.1	12.1	7.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	38.9	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	2.1	—	—

（注）1. 指標の算出方法

自己資本比率：自己資本／総資産、時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数（自己株式を除く）により算出しております。

3. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

4. 2023年9月期及び2024年9月期の「キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）」、「インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）」については、営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

（4）今後の見通し

不動産業界においては、収益不動産の価格水準が高く利回りも低いいため適正な投資案件不足の状態が続いており、今後もこの状況が継続すると予想されます。

不動産関連事業においては、保有物件のリーシング活動に注力し、安定した賃料収入を確保するとともに、それぞれの物件の魅力を引き出すリビルド工事を進め資産価値のさらなる向上を図ります。

また、収益不動産マーケットの変化を注視しながら当社グループの基準に見合う安定稼働の見込めるオフィスビル、レジデンス、商業施設等収益性の高い物件を取得し賃貸ビジネスを強化し収益を確保してまいります。

外食事業については、新店舗出店に注力することはもとより、既存店舗においても、良い空間、良い食事、良いサービスを提供できる体制づくりにより集客力を高め収益を生み出す事業を目指します。

服飾事業では、旗艦店舗と位置づけた店舗を中心に販売体制を整備する一方で、グループ内製造企画、製造、販売一貫体制を持つ強みを実現させるための施策を進めてまいります。

このように外食事業、服飾事業とも先行投資段階であることから、その投資回収が始まるのは今しばらく先になるものと考えておりますが、今後も当社は不動産関連事業で培った経営ノウハウを活かして新規事業分野を不動産関連事業に続く大きな収益の柱に育てることに注力してまいります。

以上により、次期の業績は、売上高15,665百万円（当期比57.0%増）、営業損失755百万円（当期は1,551百万円の営業損失）、経常損失1,205百万円（当期は1,963百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純損失1,325百万円（当期は2,099百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な事業展開や資金調達を行っていないため、また国内の同業他社との比較可能性に資するよう、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当連結会計年度 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,712,101	6,073,716
受取手形	5,915	9,030
売掛金	70,872	628,853
営業未収入金	29,987	22,839
商品及び製品	227,623	884,418
販売用不動産	6,460,394	31,747,453
未成工事支出金	7,667	1,504
仕掛品	8,473	77,480
原材料及び貯蔵品	254,142	749,759
その他	236,536	660,142
貸倒引当金	△427	△427
流動資産合計	18,013,289	40,854,772
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,107,361	2,788,969
減価償却累計額	△9,225,509	△1,608,821
建物及び構築物 (純額)	11,881,851	1,180,148
機械装置及び運搬具	201,851	215,923
減価償却累計額	△129,948	△130,468
機械装置及び運搬具 (純額)	71,902	85,455
工具、器具及び備品	547,220	346,147
減価償却累計額	△287,879	△141,787
工具、器具及び備品 (純額)	259,341	204,360
土地	20,299,600	3,809,606
リース資産	—	666
減価償却累計額	—	△666
リース資産 (純額)	—	—
建設仮勘定	652,523	1,691,353
有形固定資産合計	33,165,219	6,970,923
無形固定資産		
のれん	323,726	448,646
借地権	1,483,221	911,331
商標権	—	817,437
その他	2,915	42,189
無形固定資産合計	1,809,864	2,219,604
投資その他の資産		
投資有価証券	14,734	15,767
関係会社株式	—	304,274
繰延税金資産	309	805
その他	873,743	1,755,270
貸倒引当金	—	△88,790
投資その他の資産合計	888,787	1,987,328
固定資産合計	35,863,871	11,177,855
資産合計	53,877,160	52,032,627

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当連結会計年度 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,965	707,112
営業未払金	38,371	38,637
短期借入金	600,000	1,822,500
1年内償還予定の社債	983,000	131,000
1年内返済予定の長期借入金	2,368,661	1,930,706
未払法人税等	222,235	449,213
賞与引当金	15,808	26,792
ポイント引当金	—	35,510
その他	2,004,121	1,322,619
流動負債合計	6,256,164	6,464,091
固定負債		
社債	3,635,000	2,712,000
長期借入金	22,210,153	23,068,519
リース債務	—	1,574
繰延税金負債	835,332	1,174,420
役員退職慰労引当金	222,606	236,362
退職給付に係る負債	122,215	124,449
資産除去債務	124,259	147,427
その他	1,752,720	1,604,882
固定負債合計	28,902,288	29,069,635
負債合計	35,158,452	35,533,727
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,969,192	4,969,192
資本剰余金	5,099,179	5,099,179
利益剰余金	11,119,887	8,889,177
自己株式	△2,428,306	△2,428,306
株主資本合計	18,759,952	16,529,242
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	66
繰延ヘッジ損益	△41,244	△30,408
その他の包括利益累計額合計	△41,244	△30,342
純資産合計	18,718,707	16,498,900
負債純資産合計	53,877,160	52,032,627

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
売上高	4,490,235	9,975,173
売上原価	2,848,920	5,572,150
売上総利益	1,641,314	4,403,022
販売費及び一般管理費	1,683,372	5,954,863
営業損失(△)	△42,057	△1,551,841
営業外収益		
受取利息	1,420	2,156
受取配当金	225	2,596
未払配当金除斥益	375	214
その他	826	14,635
営業外収益合計	2,848	19,602
営業外費用		
支払利息	386,920	364,280
資金調達費用	20,225	24,079
その他	26,238	43,091
営業外費用合計	433,383	431,452
経常損失(△)	△472,593	△1,963,690
特別利益		
固定資産売却益	1,506,535	3,066,697
投資有価証券売却益	—	16,880
特別利益合計	1,506,535	3,083,578
特別損失		
減損損失	390,994	2,501,989
固定資産除却損	155,824	47,906
関係会社株式評価損	—	12,899
貸倒引当金繰入額	—	62,307
店舗閉鎖損失	7,508	—
借入金繰上返済精算金	10,760	49,702
社債償還損	—	19,639
特別損失合計	565,086	2,694,445
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	468,855	△1,574,558
法人税、住民税及び事業税	110,821	458,168
法人税等調整額	8,538	66,415
法人税等合計	119,360	524,584
当期純利益又は当期純損失(△)	349,494	△2,099,142
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	349,494	△2,099,142

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	349,494	△2,099,142
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	66
繰延ヘッジ損益	25,173	10,836
その他の包括利益合計	25,173	10,902
包括利益	374,668	△2,088,239
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	374,668	△2,088,239

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,969,192	5,099,179	10,889,469	△2,428,306	18,529,534
当期変動額					
剰余金の配当			△119,076		△119,076
親会社株主に帰属する 当期純利益			349,494		349,494
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	230,418	—	230,418
当期末残高	4,969,192	5,099,179	11,119,887	△2,428,306	18,759,952

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	繰延ヘッジ損益	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	△66,418	△66,418	18,463,116
当期変動額			
剰余金の配当			△119,076
親会社株主に帰属する 当期純利益			349,494
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	25,173	25,173	25,173
当期変動額合計	25,173	25,173	255,591
当期末残高	△41,244	△41,244	18,718,707

当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,969,192	5,099,179	11,119,887	△2,428,306	18,759,952
当期変動額					
剰余金の配当			△119,076		△119,076
親会社株主に帰属する 当期純損失 (△)			△2,099,142		△2,099,142
連結子会社による非連 結子会社の合併に伴う 増減			△12,491		△12,491
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	△2,230,710	—	△2,230,710
当期末残高	4,969,192	5,099,179	8,889,177	△2,428,306	16,529,242

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	—	△41,244	△41,244	18,718,707
当期変動額				
剰余金の配当				△119,076
親会社株主に帰属する 当期純損失 (△)				△2,099,142
連結子会社による非連 結子会社の合併に伴う 増減				△12,491
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	66	10,836	10,902	10,902
当期変動額合計	66	10,836	10,902	△2,219,807
当期末残高	66	△30,408	△30,342	16,498,900

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	468,855	△1,574,558
減価償却費	879,039	898,630
減損損失	390,994	2,501,989
のれん償却額	7,000	87,249
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△27	67,240
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,913	△62
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△8	2,233
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,637	13,755
受取利息及び受取配当金	△1,645	△4,752
支払利息	386,920	364,280
固定資産売却損益(△は益)	△1,506,535	△3,066,697
固定資産除却損	155,824	47,906
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△16,880
関係会社株式評価損	—	12,899
借入金繰上返済精算金	10,760	49,702
社債償還損	—	19,639
売上債権の増減額(△は増加)	4,342	78,722
棚卸資産の増減額(△は増加)	△10,454	△517,584
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,796	△309,448
未払金の増減額(△は減少)	11,384	△16,789
未払消費税等の増減額(△は減少)	△19,296	△18,057
その他	△240,271	△587,314
小計	538,637	△1,967,892
利息及び配当金の受取額	1,645	4,752
利息の支払額	△383,873	△373,985
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	13,518	△256,954
借入金繰上返済精算金の支払額	△10,760	△49,702
訴訟和解金の支払額	△166,959	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,792	△2,643,782
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	—	△23,576
有形固定資産の取得による支出	△1,645,242	△2,160,592
有形固定資産の売却による収入	4,356,893	4,270,409
無形固定資産の取得による支出	△21,410	△1,916
非連結子会社株式の取得による支出	—	△355,608
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	21,772	541,672
投資有価証券の売却による収入	—	253,232
関係会社貸付けによる支出	△626,800	△3,307,430
事業譲受による支出	—	△260,000
敷金及び保証金の差入による支出	△99,388	△533,097
資産除去債務の履行による支出	△73,767	—
その他	6,845	72,888
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,918,902	△1,504,017

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△300,000	1,222,500
長期借入れによる収入	1,524,820	6,595,000
長期借入金の返済による支出	△2,518,117	△6,463,364
社債の償還による支出	△485,438	△1,794,639
配当金の支払額	△119,239	△119,453
長期未払金の返済による支出	△119,967	△15,314
その他	△47,783	△562
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,065,726	△575,834
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	201
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△154,616	△4,723,432
現金及び現金同等物の期首残高	10,784,718	10,630,101
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	41,269
現金及び現金同等物の期末残高	10,630,101	5,947,938

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業内容の関連性及び事業規模に基づき事業セグメントを集約し、「不動産関連事業」、「外食事業」、「服飾事業」の3事業を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続に準拠した方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	連結財務諸 表計上額
	不動産関連 事業	外食事業	服飾事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,393,116	66,241	30,878	4,490,235	—	4,490,235	—	4,490,235
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,393,116	66,241	30,878	4,490,235	—	4,490,235	—	4,490,235
セグメント利益 又は損失(△)	1,418,334	△449,228	△155,866	813,238	—	813,238	△855,296	△42,057
その他の項目								
減価償却費	866,690	41,388	1,921	910,000	—	910,000	26,386	936,387
のれん償却額	2,836	—	4,164	7,000	—	7,000	—	7,000
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	858,129	215,030	494,836	1,567,996	—	1,567,996	26,800	1,594,796

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額△855,296千円は全社費用であります。その主なものは当社の総務、人事、経理等の管理部門に係る費用であります。
- (2) 減価償却費の調整額26,386千円は、特定のセグメントに帰属しない全社資産の減価償却費であります。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額26,800千円は、特定のセグメントに帰属しない全社資産の増加額であります。

3. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. 当社グループは、報告セグメントに資産を配分していないため、「セグメント資産」の記載を省略しております。

当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	連結財務諸 表計上額
	不動産関連 事業	外食事業	服飾事業	計				
売上高								
外部顧客への売上 高	4,140,991	602,710	5,032,909	9,776,611	198,561	9,975,173	—	9,975,173
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	3,600	—	—	3,600	—	3,600	△3,600	—
計	4,144,591	602,710	5,032,909	9,780,211	198,561	9,978,773	△3,600	9,975,173
セグメント利益 又は損失 (△)	1,335,403	△736,556	△1,058,515	△459,668	△154,789	△614,457	△937,383	△1,551,841
その他の項目								
減価償却費	787,506	58,939	173,502	1,019,948	2,832	1,022,781	29,621	1,052,402
のれん償却額	—	18,854	66,197	85,051	2,197	87,249	—	87,249
有形固定資産及び 無形固定資産の増 加額	746,090	799,396	3,687,570	5,233,056	113,279	5,346,336	32,540	5,378,877

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額△937,383千円は全社費用であります。その主なものは当社の総務、人事、経理等の管理部門に係る費用であります。
- (2) 減価償却費の調整額29,621千円は、特定のセグメントに帰属しない全社資産の減価償却費であります。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額32,540千円は、特定のセグメントに帰属しない全社資産の増加額であります。

3. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. 当社グループは、報告セグメントに資産を配分していないため、「セグメント資産」の記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

	不動産関連 事業	外食事業	服飾事業	計	その他	全社・消去	合計
減損損失	—	390,994	—	390,994	—	—	390,994

当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

	不動産関連 事業	外食事業	服飾事業	計	その他	全社・消去	合計
減損損失	2,297	424,301	2,070,994	2,497,593	4,395	—	2,501,989

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

	不動産関連 事業	外食事業	服飾事業	計	その他	全社・消去	連結財務諸表 計上額
当期償却額	2,836	—	4,164	7,000	—	—	7,000
当期末残高	—	—	317,132	317,132	6,593	—	323,726

当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

	不動産関連 事業	外食事業	服飾事業	計	その他	全社・消去	連結財務諸表 計上額
当期償却額	—	18,854	66,197	85,051	2,197	—	87,249
当期末残高	—	145,824	302,821	448,646	—	—	448,646

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり純資産額	943.19円	831.34円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)	17.61円	△105.77円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株 主に帰属する当期純損失 (△) (千円)	349,494	△2,099,142
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利 益又は親会社株主に帰属する当期純損失 (△) (千円)	349,494	△2,099,142
普通株式の期中平均株式数 (株)	19,846,115	19,846,115

(重要な後発事象)

該当事項はありません。